

令和元年亀岡市議会定例会 9月議会一般質問

亀岡市議会

令和元年亀岡市議会定例会9月議会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者		質問方式	
9月10日(火)	10:00～	個人	1 長澤 満	一問一答	
	10:45～		2 山本由美子	一問一答	
	11:30～		3 福井 英昭	一問一答	
			休憩		
	13:15～		4 三宅 一宏	一問一答	
	14:00～		5 田中 豊	一問一答	
	14:45～		6 富谷加都子	一問一答	
9月11日(水)	10:00～	個人	7 石野 善司	一問一答	
	10:45～		8 木村 勲	一問一答	
	11:30～		9 三上 泉	一問一答	
			休憩		
	13:15～		10 大塚 建彦	一問一答	
	14:00～		11 松山 雅行	一問一答	
	14:45～		12 並河 愛子	一問一答	
			休憩		
	15:45～		13 浅田 晴彦	一問一答	
16:30～	14 竹田 幸生	一問一答			
9月12日(木)	10:00～	個人	15 奥野 正三	一問一答	
	10:45～		16 木曾 利廣	一問一答	
	11:30～		17 小川 克己	一問一答	
			休憩		
	13:15～		18 赤坂マリア	一問一答	
	14:00～		19 西口 純生	一問一答	
			休憩		
	15:00～		20 菱田 光紀	一問一答	
15:45～	21 小松 康之	一問一答			

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

令和元年亀岡市議会定例会9月議会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	<p>長澤 満 9月10日(火) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市政運営の 基本方針につ いて</p> <p>2 亀岡市新火 葬場整備計画 について</p>	<p>本市は、2020年のターゲットイヤー及び環 境先進都市の実現に向けて各種施策を推進して いる。これらの施策運営の基本方針を問う。</p> <p>(1) 環境先進都市を目指す施策は、市民や事業 者に対する「規制」と「支援」の両方の要素 を含むとみられる。それらの施策の中で、市 民や事業者の「環境にやさしいまちづくり」 の取組みを支援する要素を重視すべきと考 えるがどうか。</p> <p>(2) プラスチックごみ対策で言えば、国やメー カーに削減対策を求め、本市では協定による レジ袋の削減を条例により普遍化しながら、 削減のための支援や啓発を強化し、投棄・散 乱の防止にこそ一定の規制を行うのが適当 であると考えがどうか。</p> <p>(3) 施策の立案・実行において、トップダウン とボトムアップの両面がある。市民の願いに 寄り添う施策の立案・実行のため、市民や事 業者との関係、また、それらの人々と第一線 で接触する職員との関係において、ボトムア ップを重視すべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 各種施策に関連して言えば、環境・産業・ 福祉・教育等に共通して、市民・事業者と職 員との接触を通じて課題解決の方向を見出 し、国や府の制度にとどまるのではなく、本 市独自の支援施策の立案・実行を促すよう なマネジメントが肝要と考えるがどうか。</p> <p>本市では、平成30年4月に亀岡市新火葬場整 備検討審議会からの答申とその中味である「亀 岡市新火葬場整備構想」(以下「整備構想」という。) が提出され、これを受けて平成31年3月に「亀 岡市新火葬場整備基本計画(案)」、同年8月に 「亀岡市新火葬場整備基本計画」(以下「基本計 画」という。)が公表されている。</p> <p>(1) 整備構想では、「当審議会は場所を決定す る機関ではなく、(中略)場所選定に係る地 元住民の合意形成等の課題を踏まえた最終 決定は、亀岡市にお願いしたい。」としてい る。その最終決定に向けた過程の一環とし て、基本計画(案)に係るパブリックコメン トが実施されたと理解するが、その結果の概 要及び結果を受けての対応方針は。</p> <p>(2) 整備構想では、①コストパフォーマンス、 ②安全性で現火葬場用地に優位性があり、③ 都市計画との整合性、④交通アクセス、⑤近 隣住宅等への影響で余部町丸山に優位性が</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想について</p> <p>4 道路・河川等の日常的な補修について</p>	<p>あるとし、総合的に勘案した結果、余部町丸山に優位性があるとした。③～⑤の評価は疑問であり、本市として基本計画を見直し、現火葬場用地で住民合意の下に整備することを検討すべきではないか。</p> <p>(3) 基本計画に関連して、6月議会において、土地開発公社の所有する土地の購入代と同公社に対する本市の貸付金とを相殺するとの答弁があった。書面や現金の授受や土地価額と貸付金額とが異なる場合の処理方法を含め、どのような相殺手続を想定するのか。</p> <p>(4) 基本計画は、国道372号から南に入り周回する構内道路を想定している。基本計画は、上記の相殺の趣旨から、総事業費に土地取得費を計上していないが、この総事業費以外に構内道路及びその他の土地の取得や造成に係る費用は発生しないのか。</p> <p>本市は、現在進行中の亀岡駅北地区の整備事業と合わせて、亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想策定事業を本年度から進めている。</p> <p>(1) 亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想策定業務委託に係る公募型プロポーザルの受託候補者の選定の経過・理由を含め、策定事業の進捗状況はどうか。</p> <p>(2) 今後策定される同構想は、当該地区の今後のまちづくりにおいて、同構想策定後の実行計画との関係を含め、どのような役割・性格を有するのか。</p> <p>(3) 同構想の策定において、当該地区の住民や事業者の生活・営業の改善、歴史・文化資源の保全と活用、老朽化した公共施設のあり方という観点はどのように反映されるのか。</p> <p>(4) 同構想の策定及び実行において、当該地区の住民や事業者が参画し、それらの意思を尊重する仕組みはどのように組み込まれるのか。</p> <p>本市の各地域の住民から道路・河川等の日常的な補修(年次計画による補修や緊急の災害復旧補修以外の日常的な補修)の要望が寄せられている。</p> <p>(1) 道路・河川等の日常的な補修に係る住民のニーズをどのように把握しているのか。</p> <p>(2) そのような補修に対応するための予算措置は。</p> <p>(3) 把握した住民のニーズに対し、補修の実施対象をどのように検討・選定するのか。</p> <p>(4) 補修対象の検討・実施の状況をどのようにフィードバックないしは情報開示するのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
--	--	--	--	---------------------------------------

2	<p>山本由美子 9月10日(火) 10:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 学校給食費の公会計化について</p> <p>2 就学援助制度の拡充について</p> <p>3 肺がん検診受診率向上につ</p>	<p>文部科学省は令和元年7月31日、教員の負担が指摘されている給食費などの徴収・管理業務について、地方自治体が行う「公会計化」を導入するよう求める通知を各都道府県や各指定都市の教育委員会に出すとともに、「学校給食費徴収・管理に関するガイドライン」を作成し、公表している。</p> <p>(1) 学校給食費の徴収方法と徴収状況は。(未納が発生している学校数もあわせて問う)</p> <p>(2) 未納の主な原因と未納発生時の対応は。(対応については誰がどのような方法で督促を行っているかなど)</p> <p>(3) 未納者に対し、徴収方法で工夫していることは。</p> <p>(4) 児童手当法第21条の規定により、児童手当受給者からの申し出を条件に児童手当からの徴収を認めているが、未納の保護者への対応として児童手当から給食費を徴収する考えは。</p> <p>(5) 学校給食費の公会計化により見込まれる効果と課題は。</p> <p>(6) 学校給食費徴収・管理に関するガイドラインを適宜参考として、学校給食費の公会計化の取組みを一層推進いただきたいとの通知に対する見解は。</p> <p>(7) 学校給食費の公会計化導入に向けての見通しは。</p> <p>就学援助制度は、小・中学校で学習するために必要な費用を負担することが困難な保護者に対して、学用品費・修学旅行費・給食費などを援助する制度である。国の2019年度予算において、各市町村の支給額アップにつながる中学校の修学旅行費や新入学児童生徒学用品費の単価引き上げなどが盛り込まれた。</p> <p>(1) 国においては今年度から援助対象品目として卒業アルバム代が新たに追加された。本市においても援助対象とする考えは。</p> <p>(2) 学校給食費について、亀岡市(教育委員会)から学校へ直接支給することで保護者負担をなくすことはできないか。</p> <p>(3) 令和元年5月から全中学校を対象に、選択制デリバリー弁当(昼食提供事業)が実施されている。現在、給食ではなく昼食として位置づけられていることから就学援助制度の対象となっていないが、本市と同じ選択制デリバリー弁当であっても就学援助制度の対象として取り扱っている自治体がある。本市においても援助対象とすべきと考えるが、見解は。</p> <p>日本ではがんに罹患する人が年々増加傾向にあり、生涯のうち2人に1人ががんに罹患すると</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
---	---	--	--	--

		<p>いて</p> <p>4 小児がん「網膜芽細胞腫」の早期発見への取組みについて</p>	<p>推計されている。国立がん研究センターによると、2017年にがんで死亡した人は37万3,334人に上り、その中でも、死亡者数及び死亡率が最も高い部位は肺との報告がなされ、男性は1位、女性は2位となっている。</p> <p>(1) 肺がんの検診受診率及び死亡者数の推移は。</p> <p>(2) 肺がん検診受診率向上への取組みは。</p> <p>(3) 特定健診とがん検診の集団セット健診による効果は。</p> <p>(4) 個別検診の導入に対する本市の見解は。</p> <p>(5) 集団セット健診申込書、がん検診申込書にオプトアウト方式を導入する考えは。</p> <p>(6) インターネットによる検診の申し込みも可能にするなど申し込み方法を改善する考えは。</p> <p>我が国における小児の死亡原因の第1位はがんとなっている。小児がんの中には網膜芽細胞腫という目のがんがあり、出生児1万5千人から1万6千人に1人の割合で発症すると言われている。網膜に腫瘍ができると視力が低下するが、乳幼児はものが見えにくくなったことをうまく伝えることができないため、発見されたときには進行している場合も少なくない。そのことから早期発見につながる取組みが重要と考える。</p> <p>(1) 網膜芽細胞腫を含む小児がん早期発見への本市の取組みは。</p> <p>(2) 乳幼児健康診査の医師の診察項目に白色瞳孔や斜視を追加できないか。</p> <p>(3) 乳幼児連れの方がよく出入りする場所(保健センターや子育て支援センター、図書館等)にポスターの掲示や冊子の設置などを行い、意識啓発を図ることが有効であると考えるが、見解は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
3	<p>福井 英昭 9月10日(火) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>桂川市政、1期4年の総括を問う。</p> <p>(1) 桂川市政誕生に際して掲げられたチャレンジビジョンの達成度は。</p> <p>(2) チャレンジビジョンの他に取組み、成果を上げることができたことは。</p> <p>(3) 行政組織としての亀岡市は、この4年間でどのように変化し、どういう方向を向くことができたと考えているか。</p> <p>(4) この4年間の市政運営は、第4次亀岡市総合計画との整合をもって行えたか。</p> <p>(5) 「環境先進都市 亀岡」という言葉を使う目的と効果は何か。</p> <p>(6) 本市の財政状況について、さまざまな要素を踏まえた上でどのように見ているか。</p> <p>(7) 将来の亀岡市は、どのようなまちとして残り、どのように発展していかなければならないと考えているか。</p>	<p>市長</p>

	<p>2 山林の崩壊とまちの保全について</p>	<p>戦後の資材不足の解消を目的とした植林政策により植えられた樹木が伐採適齢期を迎えている。また、昨年台風21号の風害は甚大な被害をもたらした。山林は崩壊しているが、これまでからも里山機能は劣化しており、保水能力の低下や土石流の発生、不健全な森の誕生など、まさに今、まちを守っていく上での危機と言えるのではないかと考える。国家レベルでの政策が必要であることはもちろんだが、本市としても早急に考えなければならないのではないかと考える。</p> <p>(1) 現在、本市の面積の70%を占める山林は健全な状態ではないと考えるが、所見は。</p> <p>(2) 台風21号により倒壊した樹木が多いが、その危険についてはどう考えるか。</p> <p>(3) 里山の環境を守るため、本市として取り組んでいけることは何か。</p> <p>(4) 国有林、府有林等の現状は。</p> <p>(5) 各財産区が保有する山林について、本来の山林管理ができない状況になっているのではないかと考えるがどうか。</p> <p>(6) 財産区制度を将来にわたって維持できると考えているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>3 「音楽のまち亀岡」について</p>	<p>先頃、シンボルプロジェクトの結実として、「音楽と楽しむクラフトビアガーデン」が開催され、多くの人でにぎわった。その中で、「こんなまちに住みたい」という声や「こんな考え方のまちなら住んでいてよかった」という声があったと聞いている。</p> <p>「音楽のまち亀岡」を進める取組みについて問う。</p> <p>(1) 当事業やその他の要素も含めた所見は。</p> <p>(2) 中規模のライブハウスを誘致することについて、所見は。</p> <p>(3) 亀岡駅北広場や駅南地区を使った「音楽のまち亀岡」構想を立てられないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>4 学校の特色化と小規模特認校制度について</p>	<p>東・西別院小学校に続いて、保津小学校が小規模特認校としてスタートすることになった。各学校がそれぞれの特色を持って、「通いたい学校」「特色ある学校」になることで、小規模特認校制度はより生きてくる。</p> <p>また、小規模特認校に限らず、各校が特色ある学校となることはすばらしいことと考える。</p> <p>(1) 東・西別院小学校の小規模特認校としての実績は。</p> <p>(2) 東・西別院小学校の特色ある教育を改めて問う。</p> <p>(3) 保津小学校では、英語教育を特色とすると聞いているが、その内容は。</p> <p>(4) 小規模特認校に限らず、学校の特色化は大切であると考え。本市の小・中学校で、単に学力を競うのではなく、それぞれの特色を</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>

			<p>ように記載したものを作成し、全戸配布してはどうか。</p> <p>(8) 大崎町には、日本語版の「ごみ分別アプリ」がある。ごみの分け方・出し方マニュアルがなくても、スマートフォンを見てごみ出しができる。アプリであれば、内容に改定があっても、少ない予算で簡単に対応できる。亀岡市も、早急に対応してはどうか。</p>	
5	<p>田中 豊 9月10日(火) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 「自治体戦略2040構想」について</p>	<p>2018年7月に総務省から「自治体戦略2040構想研究会」第二次報告が出された。この報告では「2040年頃にかけて迫り来る我が国の内政上の危機を明らかにし、共通認識とした上で、危機を乗り越えるために必要となる新たな施策(アプリケーション)の開発とその施策の機能を最大限発揮できるようにするための自治体行政(OS)の書き換えを構想するものである。」と述べている。</p> <p>この構想の大前提は、2014年5月の日本創成会議のレポート「ストップ少子化・地方元気戦略」(「増田レポート」人口減少論・自治体消滅論)にある。構想の内容は4つの柱から成り、第1の柱は、2040年を目標年にして、そこを起点に逆算方式でスマート自治体をつくり、AIやロボティクスを活用して従来の半分の職員で運営できる自治体をつくるべきだとしている。第2の柱は、公共私によるくらしの維持、第3の柱は、圏域マネジメントと二層制の柔軟化、第4の柱は、東京圏のプラットフォームである。</p> <p>(1) この構想は「増田レポート」(人口減少論・自治体消滅論)を前提にしており、人口減少や少子化が生み出された要因が分析されていないが、所見を求める。</p> <p>(2) スマート自治体(具体的には半分の職員でも担うべき機能が発揮される自治体、AI・ロボティクス等を使いこなす自治体)への転換を述べているが、AIの限界について所見を求める。</p> <p>(3) 2018年7月5日の第32次地方制度調査会第1回総会に出席した全国市長会の立谷会長は、この構想について「①先般公表された総務省の『自治体戦略2040研究会』の報告は、市長の意見を聞いておらず唐突感があり、地方創生の取組に水を差すこと②本調査会の議論は、自治体の意見を聞きながら、慎重に時間をかけて進めるべきこと」等の発言をされた(全国市長会ホームページより)。この発言に対する所見を求める。</p> <p>(4) 2018年12月18日の第32次地方制度調査会第2回総会で、全国町村会の荒木会長は、「我々町村は、これからの国のあり方、地方のあり方として、地域地域の多様性を大切にし、分散しながらも、それぞれが多面的</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>に連携協力し、新しい価値を生み出せる地域社会が豊かな国づくりだと考える。(中略)我々町村は、人口規模万能主義、人口が大きければ行政運営も効率的でいいという考え方とは違う立場であることも強調しておく。大都市や拠点都市、圏域の中心都市への人・モノ・カネ・情報が集中する国土構造、効率化・標準化された仕組みやシステムを重視して、これからの地域社会を構築していこうとすることには反対する。これは、平成の大合併からの教訓である」と述べられている。この発言に対する所見を求める。</p> <p>(5)「自治体戦略2040構想」について、市長の所見を求める。</p>	<p>本年6月議会で質問したが、それを踏まえて以下の質問をする。</p> <p>(1)改正地方公務員法の特別職非常勤職員に該当する職員とは。</p> <p>(2)改正地方公務員法の臨時的任用職員に該当する職員とは。</p> <p>(3)現在任用されている臨時職員・非常勤職員への対応は。</p> <p>(4)フルタイムの会計年度任用職員について問う。</p> <p>①給与水準はどうか。</p> <p>②期末手当を含め、手当の支給はどうか。</p> <p>(5)パートタイムの会計年度任用職員について問う。</p> <p>①報酬決定は、フルタイムの職員に支給される手当相当を報酬に反映させるべきだと考えるがどうか。</p> <p>(6)「任期の定めのない常勤職員中心の公務運営」が基本だが、現に勤務している臨時・非常勤職員の雇用継続と、賃金・労働条件の引き下げをせず、改善すべきだと考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>2 会計年度任用職員について</p>	<p>3 農業次世代人材投資事業について</p>	<p>8月15日付け日本農業新聞は、「新規就農者を支援する国の『農業次世代人材投資事業』の2019年度予算の減額で、地方自治体が対応に苦慮している。」と1面トップと14面で大きく報じている。</p> <p>(1)本市の準備型の交付対象数は。</p> <p>(2)本市の経営開始型の交付対象数は。</p> <p>(3)本市に対する国からの交付額は。</p> <p>(4)今後の対応は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>4 ジャンボタニシの被害について</p>		<p>京都府南丹農業改良普及センターが、7月にジャンボタニシ防除方法というチラシを発行した。</p> <p>(1)ジャンボタニシによる被害状況はどうか。</p> <p>(2)散布用の石灰窒素や農薬代に対して補助する考えはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		5 耐震改修促進について	<p>私は、本年の6月議会で耐震改修促進について質問し、コストダウンを目指した合理的な耐震改修工法と言われている高知県の低コスト工法の採用を提案した。市長は「事業実施におけるコスト低減は重要な課題でありますから、耐震化率向上のためには、一度、この工法も京都府と協議をしながら、採用ができないものかということを考えてまいりたいと思います。（中略）この方法を京都府としても認めていただければ、より安易に耐震改修ができるということは、我々にとってもこれはありがたいことだと思っております。」と答弁された。</p> <p>(1) 京都府と協議されたのか。 (2) 京都府の考えはどうであったのか。</p>	市長 所管部長
6	<p>富谷加都子 9月10日(火) 14:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 移送サービス事業について</p> <p>2 民生委員・児童委員について</p>	<p>昨年度に亀岡市地域公共交通網形成計画が策定され、地域公共交通の方向性が示された。今後、変化する地域のニーズに応じた効果的な移動確保は、喫緊の課題である。</p> <p>(1) 既存の交通手段での移動が困難な高齢者及び障がい者の通院、買い物等を支える福祉有償運送は、地域福祉の観点から、さらに需要が高まると考える。</p> <p>①本市におけるNPO法人かめおかアッシーの送迎サービス事業の現状と課題をどのように認識しているのか。 ②交通弱者の潜在的な需要について市の見解は。 ③福祉の観点からの移動手段を拡充する考えはあるのか。</p> <p>(2) 地域コミュニティを活用した生活交通の支援として、東別院町でデマンド型交通支援事業が運営されている。公共交通空白地域に限定されてはいるが、移動手段として他の地域に拡大する考えはあるのか。</p> <p>(3) 地域公共交通は、事業者だけで支えられなくなっている。また、行政だけが公共交通を担うことも不可能である。他市でも、さまざまな手法で買い物弱者を支援する事業が、展開されている。本市として、具体的な移送支援の方策はあるのか。</p> <p>(4) 今後の地域公共交通の中で、タクシーも新たなファクターとして公共交通対策特別委員会で議論されている。本市の方向性として、バス交通を維持する中で、さらに予算を充実する考えであるのか。</p> <p>令和元年12月は、3年に1度の民生委員・児童委員の一斉改選の年である。改選時は、推薦する自治会の皆様が苦慮される時期であり、民生委員・児童委員の皆様も、継続、退会、入会等の判断をしなければならない年である。地域福祉の最前線を歩き、要として相談役や見守り役を担う民</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>

		<p>3 父親の子育て支援の取組みについて</p>	<p>生委員・児童委員を支えるべき行政の役割について問う。</p> <p>(1) 今年度の民生委員・児童委員の定数は199人であるが、現時点での7ブロックの人選の経過はどうか。</p> <p>(2) 本市は民生委員・児童委員の活動の現状をどのように認識し、国へ要望等を行う予定はあるのか。</p> <p>(3) 高齢化が進むに従い、なり手は減り業務量は増える一方である。市として、どのような手立てを考えているのか。</p> <p>(4) 児童虐待、高齢者虐待、子どもの貧困、ひきこもり、認知症、自殺等の要因の1つが地域からの孤立と推測する。そんな時代であるからこそ、身近な民生委員・児童委員の活躍が、生活のセーフティネットの役目を果たす。民生委員・児童委員の活動の底上げのため、強化要員を配置する考えはあるのか。</p> <p>男女共同参画の視点からみても、男性の家事・育児は当たり前の時代である。しかし、まだ社会全体の意識改革が必要との感がある。昭和生まれの世代は、ほとんどが家事・育児は女性の仕事という慣習の中で育った。現実には、社会構造そのものに改善の余地があり、父親が家事や子育てしやすい体制づくりが求められる。</p> <p>(1) 父親が子育てしやすい環境について、本市はどのように考えるのか。</p> <p>(2) 父親に特化した親子の集いや、父親の子育てセミナーなどの企画が本市にはあるのか。</p> <p>(3) 市職員の育児休暇取得率について、直近の現状と目標はどうか。</p> <p>(4) ハード面の改善として、公共施設等の男性トイレに、オムツ交換シートやベビーチェアがほしいとの声があるが、本市の考えはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
7	<p>石野 善司 9月11日(水) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 予算執行状況について</p>	<p>市長は今年の3月議会開会日の施政方針及び予算編成方針で8つの施策を掲げ、現在予算執行がなされている。亀岡から世界に誇れる「環境先進都市」の実現と「地球と人にやさしいまち」亀岡への次なる時代の扉を開き、新たな歩みを進める1年として、積極的かつ大胆に取組みが進められている。平成31年度予算は財政状況の厳しい中ではあるが、これらの市政運営の考え方を基本的に、市民本位のまちづくりを進め、第4次亀岡市総合計画～夢ビジョン～後期基本計画を着実に進めていくための予算編成であった。</p> <p>(1) 予算執行状況は。</p> <p>(2) 市税の収納状況は。</p> <p>(3) 年度内の予算の見通しは。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 ふるさと納税による収入確保について</p>	<p>ふるさと納税制度を活用して本市の魅力をPRすることで、寄附金の増額や本市の財源の確保を図るとともに、返礼品として地元産品・サービスなどを活用し、本市の産業振興・地域経済の活性化につながると考える。</p> <p>(1) 平成30年度に受け取った寄附金のうち、返礼品調達費や事務費といった経費分に充てた額を除き、地域活性化の財源になった額はどれほどか。</p> <p>(2) 新制度は、①返礼品地場産、②調達費が寄附額の30%以下、③寄附募集の適正な実施の3つの基準を満たした自治体のみ、総務省が対象に指定する。地場産の範囲は幅広く、自治体をPRするゆるキャラグッズなどは他地域産でも送付が可能だが、地域資源が乏しい自治体では寄附減少を不安視する声も強い。本市の現状はどうか。</p> <p>(3) 寄附した人は翌年度、居住地に納める住民税が軽減されるが、本市の現状はどうか。</p> <p>(4) 一般的な自治体であれば減収分の75%が地方交付税で補てんされるが、本市の現状はどうか。</p> <p>(5) 返礼品として多くの品目が揃えられているが、人気のある返礼品の現状は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>3 行政事務「選挙」について</p>		<p>7月に投開票された参議院議員通常選挙で、選挙管理委員会が商業施設に初設置した期日前投票所では、3日間で約1,300人が投票したが、選挙区投票率は過去2番目に低かった。しかし、府下の26市町村の中では20番目と前回より4つ順位を上げ、下げ幅抑制に一定の効果があったと見られている。10月の市長選挙でも同施設に期日前投票所を設置し、効果を見極めながら、他の選挙でも設置するのかを検討するとのことである。</p> <p>選挙に行くとき、多くの有権者は居住地に届いた案内はがきを持参して投票所に向かうはずである。実は住んでいる市町村の選管ごとにその名称は異なり、入場に必携と思える「投票所入場券」というものから、事務的な意味合いの整理券などさまざまである。しかし、これらは一票を投ずる権利行使のための「投票券(権)」ではなく、持参しなくても投票は可能であり、期日前投票・投票日当日どちらでも受付で氏名、住所、生年月日の3つを正確に言うと投票できる。参議院議員通常選挙で投票率が5割を下回ったということは、5割を超える有権者にはこの案内はがきが無駄になったということになる。我が国の場合は、義務ではなく権利という価値観に基づくため、案内はがきは送付するものの、投票に行くかどうかは有権者の自由である。</p> <p>(1) 投票に行く意思のない人に案内はがきを送り続ける必要があるのか。例えば、希望した</p>	<p>市長 選挙管理委員会 委員長 所管部長</p>

			<p>人のみに郵送する、または3回連続棄権した人には「次回以降、特にご案内いたしません」という書面を発出することはできないか。何のために執行している行政事務なのかを考えることで新たな工夫を生み出せると考えるが、所見は。</p> <p>「一般選挙」と呼ばれる都道府県知事や市町村長、地方議員の選挙も同様で、現職の出馬の有無にかかわらず、基本的には任期満了前に行われる。したがって、落選しても知事は知事であり、市長は市長である。法理論上、選挙後の首長就任は最短1日だが、最長では30日後である。その間は現職市長のまま、何が起きてても職責を果たさなければならない。</p> <p>(2) このような状況の下、参議院議員選挙、地方の首長選、地方議員選は即日開票することに意義があるのか。基本的には任期満了前に改選しているため、深夜に一刻を争って当落を決める理由はないと考えるが、所見は。</p> <p>公職選挙法では、「開票は、すべての投票箱の送致を受けた日又はその翌日に行う。」と規定されているだけで、各都道府県・市町村の選挙管理委員会が判断すれば良い。より低廉な公費支出で賄うべきで、明らかに正当性があり、公務員のコスパ意識を高めると同時に、有権者に選挙と行政・議会の関係を知ってもらうことにもつながる。</p> <p>(3) 市民生活への影響を巡って賛否を呼ぶものとは異なり、翌日開票にしても誰も反対しないはずであると考えますが、所見は。</p>	
		<p>4 道の駅ギャラリーかめおかレストラン再開について</p>	<p>ギャラリーかめおかが開館して21年が経過した。平成10年9月のオープン時に(株)藤田観光京都国際ホテルがレストラン経営を開始して以降、複数の事業者によりレストラン経営がなされてきた。ギャラリーは地元住民の利用が多く、観光客の集客力は低いのが課題と言われている。</p> <p>(1) 今後のあり方を検討しているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>5 京都スタジアム内の飲食ブースの設置について</p>	<p>京都スタジアム内のにぎわいを創出するエリアにおいては、クライミングウォールの設置や大河ドラマ館の開設が予定されている。また、フィールドを取り囲むように設置されるインナーコンコースは、地元物産展やフリーマーケットなど、天候を気にせずにイベントを開催することができるスペースとなっている。</p> <p>(1) 常設の軽食等ができる施設を設置する考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>

<p>8</p>	<p>木村 勲 9月11日(水) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 エコバックの普及とレジでのエコバックレンタルについて</p> <p>2 保津川条例制定について</p> <p>3 府道王子並河線のJR大井踏切の拡幅と南側交差点について</p> <p>4 市道中矢田篠線の亀岡ICまでの延長工事について</p>	<p>亀岡市では、プラスチックごみゼロ宣言がなされ、スーパーにおけるレジ袋有料化が始まった。エコバックの今後の普及について問う。</p> <p>(1) 亀岡市として、エコバックの普及のためにどのような施策を行うのか。</p> <p>(2) スーパーで有料のレジ袋が販売されているが、レジでエコバックを購入したり、レンタルするような指導は考えているのか。</p> <p>保津川流域のごみ放置をなくすため、保津川条例制定について問う。</p> <p>(1) ごみの不法投棄やバーベキュー後のごみ放置等をなくすため、保津川条例の制定は考えているのか。</p> <p>(2) 本議会において一部改正案が提出されている保津川水辺公園に、バーベキュー場がつくられたが今後、ほかの地区でもつくられる予定はあるのか。</p> <p>府道王子並河線のJR大井踏切と南側交差点の改善について問う。市民の多くが往来するJR大井踏切の道幅が狭く、車両が行き違いする際には、人の歩くスペースがなく、危険な状態が続いている。</p> <p>(1) 亀岡市として、JR西日本と協議を行っているのか。</p> <p>(2) 南側T字路の交差点では、南向右折車が踏切と交差点で重なり進行しにくい状況であるが、改善策は。</p> <p>国道9号の渋滞緩和のための道路として期待されている、市道中矢田篠線の延長工事について問う。</p> <p>(1) 亀岡ICにつながる道路の計画の進捗は。</p> <p>(2) 亀岡ICから千代川ICまでの側道計画はあるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
<p>9</p>	<p>三上 泉 9月11日(水) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 桂川市政の4年間について</p>	<p>桂川市政になって4年が経過した。4年前の選挙公約「かめおか・未来・チャレンジビジョン」には、「住みよさランキング府内1位をめざします」と書かれている。市長は、8月26日の定例記者会見において、1期目の公約達成度について聞かれ、「公約の71%は完成し、16%が一部達成、13%が取組中」と評価された。</p> <p>(1) 2019年版の全国自治体別住みよさランキング(三菱UFJ不動産販売調査による)を見ると、府内15市の内、住みやすさは総合で14位(全国順位は659位)となっている。このことは公約達成度にどの程度反映しているのか。</p> <p>(2) 学校等への空調設置、こども医療費助成制度拡充など施策は進んだが、ようやく他市町村に追いついた状況であり、暮らしへの支援</p>	<p>市長</p>

		<p>策の切り下げ、中学校給食の未実施、市民のスポーツ・文化ニーズに対応しきれていないなど、市民の「しあわせ度」は他市に比べるとさほど上がっていないという市民の声も多い。こういった市民の感覚をどのように捉えているのか。</p> <p>(3) スタジアム、オリンピック、大河ドラマなどは亀岡の知名度を上げ、集客・にぎわいを生み出すことにはなっても、そこに住む市民の「しあわせ度」を上げることにはつながってはいないのではないか。予算の使い方はこれでよかったのか疑問に思うが所見は。</p>	<p>特別交付税措置を活用している県・市町村がたくさんある。「昭和五十一年自治省令第三十五号」が法令根拠（上位法はなし）である。これを利用すると、自治体が補填している赤字分の5分の4が交付される。都道府県が該年度の照会を市町村にかけ、市町村からの回答を都道府県が国に提出し、国からの特別交付税が市町村に交付される仕組みであり、多くの県で申請をして交付されている。</p> <p>(1) この制度の存在を知っているのか。</p> <p>(2) 京都府に問い合わせをしたところ、京都府も存在を知らなかったようで現在調査中である。市としても京都府に働きかけるべきではないか。</p> <p>(3) この制度を活用することができれば、コミュニティバスの運行、路線の拡大などが可能になるのではないか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>2 コミュニティバス・デマンド交通等の財源について</p> <p>3 学校給食について</p>	<p>社会状況の変化により、今日における学校給食の役割はますます重要になっている。多くの市区町村で、大規模調理場をやめて自校給食あるいは親子方式・兄弟方式の給食に移行している。また、中学校給食では、京都府内でもデリバリー弁当方式から全員制の中学校給食に舵を切り替える市町が増えてきた。いよいよ、学校給食の見直しは待ったなしである。</p> <p>(1) 学校給食の今日的意義について、以下の観点（またはそれ以外でも）から、どのように考えているか。</p> <p>① 児童生徒の心身の発達に必要な栄養の摂取は。</p> <p>② 経済的困難家庭への支援を全国等しく行うことについてはどうか。</p> <p>③ 地産地消等による地域産業の推進は。</p> <p>④ 食の楽しさ、食への理解など全生徒への食育推進は。</p> <p>⑤ 安全安心な食の提供は。</p> <p>(2) 大規模調理場1つだけの方式でのリスクをどう考えるのか。</p> <p>(3) 学校給食法や食育基本法に基づく給食の意</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>	

		<p>4 幼児教育・保育の無償化に伴う施策について</p>	<p>義、また、以前とは比べ物にならないほど、年々進化・発展している学校給食の実績について、子どもや保護者にどのように理解してもらっているのか。</p> <p>(4) 遅くまで残しての完食の強要等、強引な指導は絶対にあってはならないと考えるが、市内の学校ではされていないか。</p> <p>(5) 貧困と格差が広がっていると言われる今日、就学援助の対象となる学校給食が、ある所とない所があること自体、教育の平等性が損なわれており、問題であるという論調が高まっているが所見は。</p> <p>(6) 心身の成長が著しい中学生の時期における栄養摂取と学校給食のかかわりを所得階層別に調べたデータでは、明らかに低所得者層ほど給食の有無による栄養摂取の差が激しい。すべての中学生の健全な心身の成長のためにも亀岡市は中学校給食を一刻も早く具体化すべきではないか。</p> <p>(7) 京都府内でも、また全国的にも、学校給食の無償化に取り組んでいる市町村が増えてきている。実態をどの程度把握しているか。</p> <p>10月から始まる幼児教育・保育の無償化は、国の施策として当然行うべきものと考えますが、財源を消費税に限定していることが極めて問題である。①逆累進性が高い、②一時的な負担軽減にしかならない、③さらなる充実にはさらなる消費税増税が必要、などの根本的な問題があり、無償化と言えば聞こえがいいが、ますます格差が広がる懸念が大いにある。また、副食費の実費徴収については、各自治体がさまざまな対処の仕方を模索している。食べる物は個人負担という考え方をするのか、それに対して、児童福祉法にのっとり食事を与えることも保育そのものであるという本来の保育の考え方、また、食育基本法に基づき、食べることは生きることそのものであり教育・保育の基本であるので公的負担を目指すという考え方をするかが問われている。また、無償化の財源は市町村が負担することになるが、基準財政需要額に盛り込まれるため交付税で返ってくる。市費で保育料を減免していた部分は新たな財源となるはずである。これを有効に活用すれば、幼児教育・保育のさらなる充実を図ることも可能である。</p> <p>(1) 消費税を財源に限定した今回の無償化施策についての所見は。</p> <p>(2) これまでの保育料減免対象世帯への副食費徴収の考え方は。</p> <p>(3) 副食費の無償化について、京都府内または全国的な動向を把握しているか。</p> <p>(4) 副食費を徴収しないとすると市の負担はどの程度増えるのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
--	--	-------------------------------	--	--------------------

			<p>(5) 今回の無償化に伴い活用できる新たな財源はどの程度と見込まれるか。</p> <p>(6) 副食費の公費負担など、さらなる充実に向けて活用すべきではないか。</p>	
10	<p>大塚 建彦 9月11日(水) 13:15~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 超高齢社会の到来に向けて</p> <p>2 武道場の畳の入れ替え、補修について</p> <p>3 駅前再開発事業について</p>	<p>国は、平成17年4月の介護保険制度の見直しに伴い、地域包括ケア体制を支える地域の中核機関として、地域包括支援センターの設置を定めた。亀岡市においては、平成30年度から高齢者等の支援を強化する目的で、7カ所の日常生活圏にセンターを設置し、事業運営を業務委託している。</p> <p>(1) 包括的支援事業経費の運営経費のうち、亀岡市の委託料の算定根拠は。</p> <p>(2) 指定介護予防支援に係る介護予防サービス計画費（介護報酬）の作成経費は。</p> <p>(3) 事業の運営に際し、法人からの大幅な繰入金認められる包括支援センターがある。健全で安定的な運営のため、亀岡市は委託料の見直しや助言等を行うのか。</p> <p>(4) 平成30年度から、事務所を併設する場合は家賃等の運営経費が新たに加算されている。本来、家賃は定められた委託料の中から支払うべきとの意見があるがどうか。</p> <p>(5) 会計検査院の見解によると、令和3年から実際の運営費より事業収益が出た場合は返金対象になるとのことである。亀岡市の見解は。</p> <p>文部科学省は平成20年3月28日に中学校学習指導要領を改訂し、保健体育の授業において武道とダンスが必修となった。武道は、柔道・剣道・空手から選択することとなっているが、その中でも柔道を選択する生徒が多い。</p> <p>亀岡中学校は市内で唯一武道場があり、学校体育だけでなく、社会体育の一環として小・中学生を対象に、柔道教室を週2回開催している。</p> <p>(1) 柔道で使用する畳は、平成7年の新体育館竣工以来、新調・補修がなされていないため、傷みが激しく生徒の安全な使用が困難になっている。生徒が安心して柔道に取り組めるよう畳の新調・補修をお願いしたいと考えるがどうか。</p> <p>(2) 亀岡運動公園体育館は、令和元年度事業で空調設備を完備し、全国規模の柔道大会開催の招致が可能となる。京都府におけるスポーツ&ウェルネス構想を充実させるためにも、国際規格の畳を準備し、亀岡市に全国規模の大会を招致する考えは。</p> <p>亀岡駅南周辺地域の都市再生整備計画事業については、本年度予算で1千万円が計上され、基本計画の策定が始まりつつある。以前から、亀岡</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>駅前商店街振興組合等が中心になり、コンパクトシティ構想等について、行政と話し合いがなされてきた。</p> <p>中心市街地として、亀岡駅南周辺地域開発には、亀岡市の象徴的役割がある。</p> <p>(1) 計画されている事業内容のうち、高質空間形成施設整備の概要は。</p> <p>亀岡市土づくりセンターから発生する臭気について、地元のみならず周辺地域から、拡散する臭気の改善を求める要望が地域こん談会等で毎年取り上げられている。</p> <p>亀岡市は、臭気対策として令和元年6月から微生物を使った臭気対策実験を実施している。</p> <p>(1) 実施概要は。</p> <p>(2) 実験の実施に係る費用は。</p> <p>(3) 実験の効果は。</p> <p>(4) 同施設に隣接する豚舎からの臭気に対しても対策が必要であると考え。市の見解は。</p> <p>(5) 旭町印地区の臭気問題の解決に向けた事業者・保健所・南丹市への対応は。</p>	<p>市長 所管部長</p>	
		<p>4 環境対策事業について</p> <p>5 南郷池の水草について</p> <p>令和元年6月議会において、南郷池の魚釣りについて質問した。南郷池は8月末現在、池一面が水草のヒシで覆われており、魚釣りができる状態ではない。専門家によれば、ヒシは水質浄化作用や酸素の発生による地球温暖化対策への効果など、すばらしい面もあるが、豪雨により流出し、出口の春日小橋で堆積すれば、南郷池の水があふれる危険性も指摘されている。</p> <p>(1) 亀岡市としての対応策は。</p>	<p>市長 所管部長</p>	
11	<p>松山 雅行 9月11日(水) 14:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 安全な通学路確保について</p> <p>2 学校教育環境の整備について</p> <p>3 防災対策について</p> <p>4 子育て支援について</p>	<p>通学路やガードレールのない道路で、歩行者に向かって車が突っ込むなどの痛ましい事故の抑止対策について問う。</p> <p>(1) 市道川関小林線の速度抑制や規制、歩道の拡幅に向けての地域の方との協議状況はどうか。</p> <p>千代川小学校校舎の増築計画について問う。</p> <p>(1) 現在の計画の具体化はどうか。</p> <p>本市で昨年に起こった災害を知らない子育てファミリーが、今後増加していくものと考えられるが、災害時のサポートと災害が起こる前の事前の周知状況について問う。</p> <p>(1) 災害時に必要な備蓄品として、乳児用液体ミルクを導入する考えは。</p> <p>(2) 子育てファミリーのための防災ハンドブック導入に向けての考えは。</p> <p>「子育て・教育で憧れのまち」亀岡をつくっていくために、子育て世代を応援する仕組みの充</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

			<p>実、ひとり親家庭への補助、妊娠から出産、子育てまでワンストップで行えるBCome+（子育て世代包括支援センター）のサポート状況について問う。</p> <p>(1) 子育て用品のレンタルを、本市でも市内在住の方を対象に行うのはどうか。</p> <p>(2) 市役所前の交差点からBCome+へ入る際に、歩行者やベビーカーの方が通行しやすいように交差点から真っ直ぐ入口までつなげてはどうか。</p> <p>(3) BCome+に在籍するスタッフの中で、社会福祉士を配置してどのような役割を担ってもらっているのか。</p> <p>(4) 産前・産後の相談も含め、BCome+へ相談される一世帯当たりの件数はどうか。</p> <p>(5) 相談の問合せやBCome+に足を運んでいただくための工夫はどうしているのか。</p> <p>(6) ひとり親家庭に対してBCome+としてのサポート内容は。</p> <p>(7) 養育費についての相談件数はどのように推移しているのか。</p> <p>(8) 養育費の取り決め内容の債務名義化を促進するため、公正証書作成促進補助金について、本市でも導入する考えは。</p> <p>(9) 子どもの貧困対策法が改正され、市町村でも計画策定の努力義務を課すとあるが、本市の計画策定状況は。</p>	
12	<p>並河 愛子 9月11日(水) 14:45～</p> <p>※一問一答</p>	1 消費税増税について	<p>安倍首相は本年10月から消費税を10%に引き上げるとしている。2014年に消費税が5%から8%に引き上げられた時点から見ても現状は深刻な状況と言わざるを得ない。これ以上の負担には耐えられないと過半数の国民が増税反対という世論調査も発表されている。</p> <p>(1) 市民への聞き取りでも増税反対の意見が多いが、市民への影響についての所見はどうか。</p> <p>(2) 今回2019年分の住民税（均等割）が課税されていない方（一部制限有り）と、2016年4月2日から2019年9月30日までに生まれたお子様がいる世帯では、プレミアム付商品券を購入できるとしているが、申請状況はどうか。また、対応される店舗数はどうか。</p> <p>(3) 新しく導入される税率は8%と10%の税率で、事業者に混乱が生じる恐れがある。また低所得者等に対するプレミアム付商品券等の対応がされているが、将来的に負担増となる。今の時期に増税すべきでないとする増税反対の意見は過半数を超えている。増税中止を求めるべきではないか。</p>	市長 所管部長

	<p>2 生活保護行政について</p>	<p>貧困と格差が広がる中、社会保障の一つである生活保護制度の充実が求められる。</p> <p>(1) 昨年に続き、生活保護制度が本年10月に改正される。今でもぎりぎり余裕がないと言われているが利用者、市民への影響はどうか。</p> <p>(2) 医療券発行について、利用者の半分は高齢世帯である。医療券が必要な時はバスや電車を使い、体調が悪い時はタクシーを使うなど苦勞をして市役所までとりに行かれる。健康保険証のような医療券を発行すべきであるとするが所見は。</p> <p>(3) 窓口対応について、利用者が相談でおとずれた場合、他人に聞かれたくない内容もある。窓口対応では困る場合もあり、改善が必要と思うがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>3 安全な道路行政について</p>	<p>安心安全の道路整備は不可欠である。子どもたちが通う通学路の整備は欠かせない。府道王子並河線で特に前脇橋から大井踏切間は車両の往来も多い。以前、緑のラインで歩道としていたが、狭すぎて十分な道路幅となっていない。通学路だけでなく生活道路となっているため高齢の方は、より過ぎて溝に落ちてけがをすることもあり改善が求められている。</p> <p>(1) 現状認識はどうか。また、道路側溝へのグレーチング設置等安全対策の考えはどうか。</p> <p>大井踏切は、以前小学生の通学路になっていたが現在は並河駅地下道を利用されている。しかし生活道路の一部でもある。車両が上下線で行き交うため、人の通行が厳しく大井踏切の改善の要望がある。これまで歩いていて踏切内で低い所に落ちた人もあり、安全面からも改善が求められる。</p> <p>(2) 現状認識と改善策はどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>4 コミュニティバス運行について</p>	<p>高齢者にとって公共交通は欠かせない。運転免許証を返納したいと思うが、代替りの足確保ができないと躊躇されている方も少なくない。いま市内全域での公共交通の充実が求められている。</p> <p>(1) コミュニティバスの延伸について余部町経由のバスをJR並河駅まで延伸してほしいとの要望がある。現状認識はどうか。</p> <p>高齢者の移動手段の確保及び外出促進等を目的として、高齢者及び運転免許証返納者を対象に回数券方式の敬老乗車券が販売されている。販売状況を見てもコミュニティバスが運行されている地域とそうでない地域は歴然とした差が出ている。</p> <p>(2) 免許返納者への支援はどのように考えているのか。また、バス利用ができるように改善が必要であるとするが、今後の計画はどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

13	<p>浅田 晴彦 9月11日(水) 15:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 川東地域の課題について</p> <p>2 防災、減災について</p> <p>3 子育て、学校教育について</p>	<p>川東地域の課題と現状への対応について問う。</p> <p>(1) 市道池尻宇津根線における「交差点注意」「通学路注意」等の路面標示の補修は。</p> <p>(2) 市道池尻宇津根線の川東学園から府道宮前千歳線までの間のゾーン30の規制は可能か。</p> <p>(3) 安全な通学路確保及び街路灯設置の進捗状況は。</p> <p>(4) 京都スタジアム運用開始に伴う川東地域の交通安全対策は。</p> <p>(5) カラス捕獲、駆除対策の現状及び今後の取り組みは。</p> <p>(6) 川東地域における自然災害時の安全対策は。</p> <p>(7) 「丹波NEW風土記の里」整備構想の具現化に向けた参考例と構想に対する提言は。</p> <p>災害発生時の備えをどうしていくのかが重要課題だと考える。</p> <p>(1) 今年連続して接近した台風第8号、第9号、第10号の被害状況は。</p> <p>(2) 災害時、要支援者に対する避難開始までの個別対応の方法は。</p> <p>(3) 警戒レベルに関するチラシを全戸配布することはできないか。</p> <p>年齢に関係なく、今社会問題になっているひきこもりの考え方と取り組みについて問う。</p> <p>(1) 教育研究所で開設されているやまびこ教室及びふれ愛教室に通う児童生徒数は。</p> <p>(2) 適応指導教室に通う児童生徒数は増加傾向にあるのか。</p> <p>(3) 適応指導教室から各学校へ復帰できた生徒の実例はあるのか。</p>	<p>市長 副市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
14	<p>竹田 幸生 9月11日(水) 16:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 スポーツ合宿を観光と捉える事について</p> <p>2 JR千代川駅バリアフリー工事進捗について</p> <p>3 窓口業務における外国人対応について</p>	<p>亀岡市は地理的に見て交通の利便性が良く、自然豊かなまちである。既存の宿泊施設や今後建設予定の宿泊施設等を活用して、観光の一環として、外部からのスポーツ合宿の取り組みも考えられる。</p> <p>(1) 亀岡市におけるスポーツ合宿の現状はどうか。</p> <p>(2) 今後、積極的に取り組んではどうか。</p> <p>バリアフリー基本構想に基づき事業が進められているが、現在工事が休止しているように見える。</p> <p>(1) 本年度予算における工事の進捗は。</p> <p>外国人に対して、行政窓口での事務手続きや制度説明、市立病院での医療通訳等、語学及び通訳の対応が求められることが多くなっている。</p> <p>(1) 日本語を話せない外国人に対して、各窓口</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 西部地域消防施設整備について</p> <p>5 自然豊かな千々川について</p> <p>6 人に優しい道路行政について</p>	<p>共通の対応マニュアルはあるのか。 (2) 市民課や国保、子育て窓口及び市立病院での窓口や受診時の医療通訳等の現状は。</p> <p>西部地域の消防施設整備について、多くの質問がされ、広域的な中での整備も認識されている。 (1) 西部地域での出動状況はどうか。 (2) 出張所とは予算も含めてどのような施設であるのか。 (3) 分署とは予算も含めてどのような施設であるのか。</p> <p>千々川は水生動物も豊かであり、蛍が桂川との合流地点あたりまで飛び交っている川である。今後、官民一体となり、多くの蛍が見られる取組みが必要と考える。 (1) 本市で蛍に関して取組みがされた例はあるのか。 (2) 地球環境子ども村や千代川小学校で、繁殖の取組みを行ってはどうか。</p> <p>道路横断中の事故を防ぐためや歩行者の安全、利便性を考え、国道9号には陸橋や地下道が設置されているが、交通弱者には使い勝手が良いとは言いきれない。近年、横断歩道の中心線上に点字ブロックを設置しているところも増えてきている。 (1) 亀岡市内の国道9号には、陸橋や地下道は何箇所あるのか。 (2) (1)の陸橋や地下道に対して、横断歩道があるのは何箇所か。 (3) 市内の国道、府道、市道で横断歩道上に点字ブロックが設置されているのは何箇所か。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
15	<p>奥野 正三 9月12日(木) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 防火の取組みについて</p> <p>2 災害復旧について</p>	<p>京都アニメーション第一スタジオが放火され、35人が死亡、34人が重軽傷を負った。この火災から改めて本市の防火に対する施策について問う。 (1) 保育所、幼稚園、小・中学校の防火対策は。また避難訓練は。 (2) 病院・福祉施設の防火対策は。また避難訓練は。 (3) 各事業所・工場の防火対策は。また避難訓練は。 (4) 共同住宅・マンションの防火対策と火災報知器の設置状況は。 (5) 飲食店等が入っている複合用途ビルの防火対策は。また避難訓練は。 (6) この火災から本市の防火に一層の注意喚起が必要と考えるがどうか。</p> <p>昨年の7月豪雨や台風の災害復旧が進み、完成している所もあるが、未だ手付かずの所もある。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		3 環境行政について	<p>未完成箇所の今後の対応について問う。</p> <p>(1) 畑野町・閉亀川の砂防堰堤の整備計画は。</p> <p>(2) 千ヶ畑川の護岸工事の計画は。</p> <p>(3) 本梅川は一部修復されたが、未完成箇所の整備計画は。</p> <p>(4) 宮前町宮川地区細谷の崩落地の修復計画は。</p> <p>(5) 東本梅町大内から宮前町神前へ通じるさくら峠の改修計画は。</p> <p>(6) 本梅町平松区の砂防堰堤の整備計画は。</p> <p>世界でプラスチックごみの廃棄が問題となり、日本も海外へプラごみの輸出をしていたが、できなくなり自国での処理となった。本市は平成26年10月からプラスチックごみの分別回収を始め約5年が過ぎることから、ごみ収集に関わる環境行政について問う。</p> <p>(1) プラスチックごみ分別回収による効果は。</p> <p>(2) 埋め立てごみの減量による埋立処分場の延命年数は。</p> <p>(3) プラスチックごみの最終処分方法とその再生率は。</p> <p>(4) 焼却処理量とその熱エネルギーの利用は。</p> <p>(5) 現在のごみステーション数を増やしてはどうか。</p> <p>(6) 高齢化が進む中、ごみの戸別収集を導入する考えは。</p>	市長 所管部長
16	<p>木曾 利廣 9月12日(木) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 京都スタジアムについて</p> <p>2 環境行政について</p>	<p>市民の期待が高まっている京都スタジアムの完成が近づいているが、交通シミュレーションについて問う。</p> <p>(1) 京都府・亀岡市の交通量調査の結果を踏まえて、本市としてどのように分析して対応策を考えているのか。</p> <p>(2) 調査結果では、国道9号を中心とした交通量の混雑状況への対応となっているが、計画している内容で対応可能と考えているのか。</p> <p>(3) 市民の生活道路、市道北古世西川線、市道中矢田篠線、府道王子並河線についての対応は考えているのか。</p> <p>(4) 混雑緩和のための、大井IC、千代川IC利用の対応は。</p> <p>(5) 今回の調査は、基本的に公共交通機関(特にJR)の利用を考えての観客誘導となっているが、本市の考えは。また関係機関との協議は。</p> <p>(6) サッカー、ラグビー等の開催時の誘導員(ガードマン)は、本市でなく主催者が責任をもって対応するという認識でいいのか。また、京都府と協議しているのか。</p> <p>平成30年12月13日に、本市と市議会が共同で「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」を行</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 新火葬場整備について</p> <p>4 教育行政について</p>	<p>った。多様な生態系を育む「保津川」から、地球規模の問題となる海洋プラスチック汚染の解決に向けた取組みになるよう、「世界に誇れる環境先進都市」実現のための取組みについて問う。</p> <p>(1) プラごみ宣言に係る関係者への説明の状況は。(亀岡市商店街連盟・亀岡商業協働組合等)</p> <p>(2) エコバッグ等の持参状況及びレジ袋の削減の取組みの現状は。</p> <p>(3) レジ袋有料化実施以降の協定書参加企業の現状と不参加企業への働きかけは。</p> <p>全国的に火葬需要が増加傾向にある中、本市においては平成30年度の火葬件数は約900件であるが、近い将来千件を超えると予想されている。また、現火葬場も大規模改修から約20年が経過して経年劣化が目立ち、新たな整備が必要となり、平成29年に「新火葬場整備構想」がまとめられた。この構想を踏まえつつ、亀岡市新火葬場整備基本計画が定められたところであるが、今後の計画について問う。</p> <p>(1) 新火葬場整備基本計画策定にあたり、プロポーザル方式による事業者選定を選択したメリット、デメリットは。</p> <p>(2) PFIを導入した経緯と財政負担の検証は。</p> <p>(3) 平成15年国土交通省大臣官房から、受注者のPFI事業への参画・関与の制限のガイドラインが示されているが、どのような内容なのか。</p> <p>(4) 京都府PFI事業導入指針が京都府PFI事業推進委員会から出ているが、どのような内容なのか。</p> <p>(5) PFI事業を初めて導入する上で、本市の留意点を十分検証すべきと考えるがどうか。</p> <p>令和2年4月実施に向けて学校規模適正化が進められているが、各学校対応について問う。</p> <p>(1) 各学校の受け入れ状況と通学路の安全対策の状況は。</p> <p>(2) 通学区域の変更地域の説明は十分できているのか。</p> <p>(3) 短期的に対応する内容と中長期的に対応する整備内容及び予算確保は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
17	<p>小川 克己 9月12日(木) 11:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 新たな乗船場計画と周辺のまちづくりについて</p>	<p>京都スタジアムを核とした、JR亀岡駅地区と亀岡北部地域を結ぶ新たなにぎわいとなる、月読橋下流右岸側に保津川下りの乗船場が計画され、府文化スポーツ部において、展示館や乗船場について測量調査が行われたと聞き期待が膨らむところである。本市の所見について問う。</p> <p>(1) 運行の実施主体は、どのように考えているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 ガレリアかめおかの駐車場整備について</p> <p>3 世界に誇れる亀岡のまちづくりについて</p>	<p>(2) 展示館とは、どのようなものか。</p> <p>(3) 周辺の道路整備等のまちづくりをどのように考えているのか。</p> <p>(4) 地元千代川地域や西部地域、川東地域等にある観光資源との連携は。</p> <p>道の駅を併設しているガレリアかめおかは、本市において今ではなくてはならない施設であり、市内外から多くの方が訪れ利用されている。混雑時には駐車場が満車で周辺道路まで車があふれている。</p> <p>(1) 現状を踏まえ、駐車スペースについてどのように考えているのか。</p> <p>(2) 大きなイベントが終わると一斉に車が出庫し、渋滞が発生する。一部条件を満たす際には、地下駐車場北出口を開放しているが、国道9号に出る信号機に、補助信号右折矢印を付けることや、出口動線の明示などを工夫すれば、渋滞が緩和されると思うが、所見は。</p> <p>世界に誇れる環境先進都市を目指している亀岡市は、亀岡市民憲章の前文にあるように世界に誇れるまちである。京都スタジアムの竣工を迎え、念願の明智光秀公を主人公とした大河ドラマが放映され、大河ドラマ館も開設され歴史ファンからも注目をあびると考える。今こそ、亀岡の歴史遺産や伝統文化、芸術や芸能を守り伝えて、同時に市内外に発信していかなければならない。</p> <p>(1) 市として把握している先人を顕彰する会はいくつあるのか。</p> <p>(2) (1)の事務局の運営や、それぞれの連携など現状をどうとらえているのか。</p> <p>(3) 亀岡市民憲章は、教育の場や市民にどれだけ根付いていると考えているのか。</p> <p>(4) 亀岡市内には、まだまだ隠れた重要な古文書や歴史的にも貴重な文化財がある。積極的に収集や分析を行い、学芸員や学生などを中心とした「かめおか歴史発見隊」と銘を打って広報をし、貴重な資料が失われないよう調査してはどうか。</p> <p>(5) 新修亀岡市史全8巻を、ふるさと納税の返礼品に入れるなど、歴史ファンや亀岡出身者の方々にもPRしてはどうか。</p> <p>(6) 今月7日まで、京都市内では国際博物館会議が開催されていた。本市では、新資料館構想が策定されている。</p> <p>① 亀岡の文化・歴史の調査、保存、展示を後世に伝える拠点となる資料館(博物館)は、いつを目途に具現化しようと考えているのか。</p> <p>② 具現化に向け新資料館構想を元に、文化資料館友の会や、顕彰会、芸術家、観光関係者など幅広く市民の声を聴くために「亀岡市民文化フォーラム」のようなものを開催し、次世</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
--	--	---	--	---------------------------------------

			<p>状は。</p> <p>(3) 行政としての啓発活動などの取組みは。 (公財)福井県健康管理協会県民健康センターの松田一夫先生、大腸がんの権威である京都府立医科大学の吉田直久先生は、国の最新の動きや医療の最先端の話などを聞いた。</p> <p>(4) 先生方から、「誰がどこでいつ受診したか把握する必要がある。亀岡市民は他の地域と比べて健康意識が低い」と言われたが、所見は。</p> <p>(5) 検査にはお金がかかるため、受診できる人とできない人が出てきてしまうが、所見は。 青森県や秋田県では、国がテスト的に大腸の内視鏡の検査費用を補助している。そのおかげで死亡率がかなり低くなった。本市としてもあらゆるケアをしていく必要がある。</p> <p>(6) 市民の大切な命を守るために、亀岡市としてしっかり啓発してもらいたいが、市長の所見は。</p>	
19	西口 純生 9月12日(木) 14:00~ ※一問一答	1 市長の政治姿勢について	任期1期目、3年半を経過して積極的な市政運営を推進してこられ、成果を挙げられていることは承知している。これからの亀岡の新時代に向けて、さらに飛躍させる亀岡のまちづくりに大きな期待を寄せている。そこで市長の政治姿勢について問う。 (1) 新時代亀岡を迎えるにあたって抱負は。 (2) 亀岡の防災・減災による市民の安全確保について、私たちが一番恐れているのは経験のない大地震の怖さである。過去の災害の歴史を見ても、極限の状態においてどう対応できるか、想定されるマニュアルを考える必要はないか。 (3) 京都府は、亀岡地域の桂川整備の第一弾として、亀岡の「かすみ堤」4カ所を1メートル嵩上げすると発表した。そこで以下の点について確認する。 ①内水処理の所管は京都府なのか、亀岡市なのか。 ②排水施設の設置場所、排水能力、事業予算等、その計画の進捗が見えないのは、今回、1メートル嵩上げしても必要がないと見ているのか。 ③京都府の嵩上げ進捗に合わせた準備を進めることについては、間違いないか。 (4) 京都スタジアム活用の関連事業推進でスポーツ振興、地域の活性化につなぐ事業として、以下の点について問う。 ①東京オリンピックのキャンプ地候補として、ラグビーの発祥の国、英国への要請を推進してきたが、工事が順調に進み、完成時期、オープニング日程など、環境は整ってきている現況は伝えてあるか。また、キャンプ地誘致	市長 所管部長

		<p>への可能性についての所見は。</p> <p>②京都スタジアム利用者の混雑防止について、施設内の各階トイレの数はどうか。また、トイレの混雑防止解消の手立ては。</p> <p>③JR亀岡駅帰還者の混雑防止を考え、時間ずらし対策として、経済効果推進計画は。</p> <p>(5)大嘗祭の生産地として亀岡の地でも神事が行われた。何百年に一度の歴史的な出来事であり、亀岡の活性化につなぐことができないか、以下の点について問う。</p> <p>①生産地として農産物生産の振興を図り、さらなる農業振興につなぐことはできないか。</p> <p>②歴史的なことであり、文化資料館でも大嘗祭の紹介も含めて、学ぶ機会を作ってみてはどうか。</p>	<p>京都スタジアムの運用が始まると道路の渋滞緩和が喫緊の課題となることは必至である。府道亀岡園部線千歳北工区は本年度で開通する見通しがついた。これらの車を分散させる必要性、重要性について問う。</p> <p>(1)宇津根橋改修の完成予定が示されてきた。これに応じた幹線道路の整備が最も重要である。桂川右岸堤防の市道保津宇津根並河線の拡幅とJR亀岡駅北口乗り入れの早期完成は不可欠である。どの法線になるのか見解を求める。</p> <p>保津八幡宮本殿がこの10月1日に改修し、竣工式が行われる。寛永文化を彩る極彩色を施した日光東照宮に見られる荘厳華麗な姿を原型として、八幡宮も生まれ変わった。そこで、以下の点について問う。</p> <p>(1)京都府の重要文化財の指定を受けている亀岡の建造物は亀岡全域でどのくらいあるのか。</p> <p>(2)これら由緒ある神社仏閣を亀岡の文化財として広く認識して観光資源の1つに取り入れることができないか。</p> <p>(3)亀岡祭や佐伯灯籠はよい事例であるが、他にも優れた亀岡の祭り文化がある。保津の火祭りも全国でも珍しい火祭りの形の1つであり、地域で育んできた祭りの伝統文化は保存継承の意義がある。祭りは広報の仕方次第で大きく人を動かす力を持っていると思うが、活性化させる事業推進についての所見は。</p>	<p>所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p> <p>教育長 市長</p>
	<p>2 幹線道路整備促進について</p>	<p>3 文化財と観光振興について</p>	<p>小規模特認校制度実施で新たな教育のあり方についての努力に敬意を表したい。そこでそれぞれの地域性を持つ特色ある教育について問う。</p> <p>(1)保津小学校の特認校について、英語に強い学校教育という触れ込みで大きく報道され</p>	<p>教育長 市長</p>
	<p>4 教育行政について</p>			

		<p>5 マイナンバー制度について</p>	<p>た。しかし地域こん談会でもチラシを見てもインパクトがないと問題提起があった。どんな形で英語に強い学校とするのか、地域こん談会で出た意見を踏まえ、見解を求める。</p> <p>(2) 遠隔地の特認校、東・西別院小学校への通学の安全確保について、安全でより通学しやすい環境を整えるべきである。すなわち、通学者の自宅近くのバス停までスクールバスで送迎してあげる配慮が不可欠であると考えるが、見解を求める。また、必要であるとするならば、予算措置についても市長の見解を求める。</p> <p>マイナンバー制度について問う。</p> <p>(1) マイナンバーカードの普及率は。</p> <p>(2) 登録の必要性についての市民の認識度は。</p>	<p>所管部長</p>
20	<p>菱田 光紀 9月12日(木) 15:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 エコバッグの普及充実について</p> <p>2 「光秀公のまち亀岡PR特別大使」導入について</p>	<p>本市は、環境先進都市を目指し、また保津川の景観を守るためレジ袋廃止を目指し取組みを進めている。</p> <p>(1) レジ袋廃止に向けた現在の取組み状況はどうか。</p> <p>(2) 大型店の取組み状況は。</p> <p>(3) コンビニの取組み状況は。</p> <p>(4) 商店街の取組み状況は。</p> <p>(5) 亀岡市直売所連絡協議会会員店舗の取組み状況は。</p> <p>(6) 商店街や農産物直売所で取組みにくい要因は何だと感じているか。</p> <p>(7) 例えば、店舗周遊スタンプラリーを実施して、ポイントが貯まれば会員店舗提供の商品が当たるなど、楽しみながらエコバッグ普及に取組んでもらえる仕掛けを考え提案すべきではないか。</p> <p>市内のタクシーに「光秀公のまち亀岡PR特別大使」に任命された「戦国V T u b e r 明智光秀」が描かれ、大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を先取りして明智光秀が築いたまち亀岡をPRしている。</p> <p>(1) そのキャラクターは、どこから見つけたのか。その正体は何者か。</p> <p>(2) 今回実施のタクシーラッピング経費は、どれほどか。</p> <p>(3) 他市町でも観光に利用できるものなのか。</p> <p>(4) 市内の商業者が、「光秀公ゆかりの地」亀岡の特産品開発にパテント使用できるのか。</p> <p>(5) これをバスにラッピングする計画は。</p> <p>(6) 京都市バスにラッピングして京都市内で亀岡観光のPRに使ってはどうか。これによって「もう一つの京都・亀岡」を大きくPRできるのではないか。ラッピングバス導入時の経費や条件は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		3 旅行者に優しい亀岡駅について	<p>視察などで地方都市を訪問すると困るのが、出発時間までの過ごし方である。観光案内所や喫茶店、休憩所などが整備されていないと手持ち無沙汰になり、それまでの大切な時間が消えてしまう。我が亀岡駅の現状もそうである。通勤通学には快適だが観光客目線が足りないように感じる。</p> <p>(1) 亀岡駅構内に、観光案内所以外で観光客が楽しめる場所はあるのか。</p> <p>(2) 電車に乗るまでに楽しかった亀岡観光を語り合うなど一息つける場所の確保を考えているのか。</p>	市長 所管部長
21	<p>小松 康之 9月12日(木) 15:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 亀岡市環境美化条例について</p> <p>3 学力向上対策について</p>	<p>本年10月に市長選挙が執行される。桂川市長一期4年間の総括について問う。</p> <p>(1) 市長は「かめおか・未来・チャレンジビジョン」を掲げ、8つの挑戦を実践してこられた。これまでの市長としての実績の自己評価について問う。</p> <p>①特に満足できた施策や事業にはどんなものがあるか。</p> <p>②未完成または不満足な点はどうか。</p> <p>(2) 再選に向けての決意は。</p> <p>「亀岡市環境美化条例」は、ポイ捨て禁止はもちろんのこと、幅広く本市の環境美化について規定されている。同条例第9条の「空き地の管理」においては、地域ではさまざまな点で努力をしながらも課題を抱えている現状がある。例えば、土地所有者の有無にかかわらず、住宅地にある空き地の雑草等が伸び、近隣に迷惑がかかるという事例がある。これらの事案に対する条例の適用について、本市の見解を問う。</p> <p>(1) これまでに、同条例第11条「指導又は勧告」、第12条「措置命令」、第13条「代執行」の適用例はあるか。</p> <p>(2) 適用があれば、どのような苦情に対して行ったか。</p> <p>(3) 「空き地の雑草等」に限定して、市に相談が持ちかけられたことはあるか。</p> <p>(4) 相談を受けた後、市としてどのような対応を行ってきたのか。</p> <p>(5) 管理されていない空き地で、所有者が判明している場合と不明な場合に分けて、周辺住民がやむを得ず勝手に草刈りをした場合は法的にどうなるのか。</p> <p>(6) 地域の努力の限界や対応が困難な場合において、周辺住民の負担軽減やトラブル防止のため、市に苦情を申し立てる中で、条例の適用を要望することは可能であるのか。</p> <p>移住・定住を検討する際の一つの指標として、特に子育て世代は、教育レベルを上げることが多い。学力レベルは、数字で見えるので判断しやすい</p>	<p>市長</p> <p>所管部長</p> <p>教育長</p>

		<p>4 子どもの貧困について</p> <p>5 学校安全対策について</p>	<p>い。かつて、京都市内の御所南小学校でも、全国から校区に移住先として殺到したことも事実である。また、定住について言えば、子どもたちが、教育環境のすばらしい地域で育ち、自らが将来子育て世代になった場合に、安心して住み続けながら子どもを育てたいと思うのは当然である。また、たとえ進学や就職ために市外に移ったとしても、Uターンしたいと思うこともあるはずである。</p> <p>文部科学省から令和元年度「全国学力・学習状況調査」の結果が公表された。</p> <p>(1) 本市の本年度の結果はどうであったか。</p> <p>(2) 今回の結果分析とさらに今後その分析をどう生かしていくのか問う。</p> <p>①各校において、それぞれ結果や分析の公表はするのか。</p> <p>②保護者にそれらをどう伝えるのか。</p> <p>(3) 来年度の学力テストの成績に対する数値目標はどのようにするのか。</p> <p>(4) 各校別成績の公表の是非を問う。</p> <p>子どもの貧困は、日本社会はもちろんのこと、本市にとっても大きな損失である。この課題解決に最大限力を注ぐべきである。本市では子どもの貧困をどのように捉え、どのような対策を行っているのかを問う。</p> <p>(1) 子どもの貧困の負の連鎖とは何か。</p> <p>(2) 負の連鎖を断ち切るにはどうするべきか。</p> <p>(3) 子どもの貧困と学力の相関関係を問う。</p> <p>(4) 本市でその調査を行ったことがあるか。</p> <p>(5) 学習支援に絞り、これまでの学力向上対策の具体的な内容を問う。</p> <p>(6) これまでの対策の目標値と達成度を問う。</p> <p>児童生徒が、学校や校外で重大な交通事故に巻き込まれることばかりでなく、川崎市であったような凶悪犯罪の被害者となることも増えてきた。本市には、スクールガード的な「学校安全協力員」の皆さんが安全確保のため、各学校に配置されている。「学校安全協力員」の現状について問う。</p> <p>(1) どのような雇用形態なのか。</p> <p>(2) 他のボランティアとの違いは。</p> <p>(3) 責任ある仕事と考えるが職務内容は。</p> <p>(4) 週の勤務回数と拘束時間は。</p> <p>(5) 報酬か謝礼か、またその額は。</p> <p>(6) 職務管理は誰が行うのか。</p>	<p>教育長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
--	--	---	--	---